

21) 第二十一日目 釧路湿原

H19年7月8日(日) 晴

- ・昨夜トイレに起きた時は満天の星空だったのに朝4時に起きると一面ガスが立ち込めどんよりと曇っている。ゆっくりと朝食を摂るが、昨夜の飲みすぎで頭が痛いし、食べすぎでカロリー過多。今朝は控えめに二組入りのサンドイッチを一組だけにし、それにいつもと同じメグミルクとコーヒー。
- ・7時すぎに道の駅を出て今日は釧路湿原を歩いてみよう。
西に向かうにしたがいガスがだんだん晴れてきて真夏の太陽が顔を出す。



湿原展望台周遊路

- ・例によって道は完全舗装で車は走っていない。周りの景色を楽しみながら60~70kmで走るが、たまに後ろから追いつく車が抜いて行く。
- ・まず釧路湿原西側の「湿原展望台」へ行ってみることに。釧路市外を抜けて西側へ回る。釧路はやはり大都市の感あり大きな市街だ。交通量も多く信号も多く抜けるのにかなり時間がかかった。
- ・展望台への道は今までの道とは違ってなぜか車が多く、それも皆急いでいる。今日は日曜日か、皆何処へ行くのだろうか。私と同じく展望台へ行くのかと思ったら、私が展望台に入っても皆素通りしてどんどん北上して行った。



展望台周遊路からの湿原の展望

- ・せっかく来た展望台は入場料400円も取る。ばかにするな！ 当然入場拒否。展望台から湿原に向けて約40分で一周する散策道路が作られているのでここを回って我慢することに。これもまた殆ど林の中の道で釧路湿原など全く感じない木道を主体とした普通の山道で期待外れだった。
- ・来た道を戻り釧路市街を抜けて今度は釧路湿原の東側へまわってきた。
- ・釧路湿原道路という湿原を横断する道路があったので入ってみる。湿原を突っ切って一直線に走る完全舗装のすばらしい道路だ。ただ両側は侵入禁止の柵が延々と続き駐車することが出来ない。走るだけ。
- ・行き着くところはなんと今来た西側の展望台の近く。わざわざ釧路市街を回って回ってくることはなかった。Uターンして東側へ戻る。



湿原を横切って一直線に続く「釧路湿原道路」

- ・湿原の東側、391号線を北上する。沼や湖や展望台が点在し楽しい道だ。

- ・細岡展望台に登り湿原を見下ろしながら昼食を摂る。
ここからの湿原の展望は雄大だ。やっと釧路湿原というものを見た気がした。



細岡展望台からの眺め



釧路川のカヌーの波止場

- ・展望台を下りると悠々と流れる釧路川、そこにはカヌーの港が作られ、屋根にカヌーを乗せて来ている関東や関西の車が見られた。



塘路湖ではカヌー教室



コッタロ湿原展望台

- ・湿原を北端まで走って西側へ回り込み鶴居を目指す。
今日の宿は鶴居の民宿「つるい」だ。



コッタロ展望台から眺める釧路湿原

- ・途中西側からコッタロ湿原展望台へ登る。
あさの展望台よりよっぽど展望がよく、広い湿原とその中をクネクネとそして悠々と流れる釧路川が眼下に一望できすばらしい。

- ・今度来るときはノロッコ号に乗って湿原の中を見てみたい。

・3時過ぎに今日の宿「つるい」に到着。温泉があり日帰り入浴で賑わっている。泊り客は私とあと男性2人だけ。温泉は掛け流しの箱型浴槽が2槽。殺風景な風呂だ。洗濯機で洗濯し(有料)部屋にロープを張り、吊るして乾燥する。夕食付きだが夕食は秋刀魚、豚肉、なべもので貧弱なもの。和室に一人、9:00に就寝。

*今日の釧路湿原も天気にも恵まれのんびりと一日楽しんだ。

[見られた花] 2種(名前不詳)



途中星草ロールを作るところを鶴居で見た